

輝く火星に魅せられて 星空探検隊

9月6日、町子ども会育成連絡協議会主催による星空探検隊が、改善センターで開催されました。

この星空探検隊は、子どもたちに秋の星座を観測してもらい宇宙への夢を育ててもらおうと、計画されたもので、当日は子どもや保護者など150名が参加。天気も晴れ、また今年は火星が6万年ぶりに地球に大接近したこともあって、またとない観測のチャンスとなりました。

講師のせんだい宇宙館の橋口隆館長が「火星や月、星座を望遠鏡で見ても、夏や秋の星々を勉強しましょう。」と話されました。最初に子どもたちは、火星の模型を製作。火星の表面がどのようなになっているかを学んだ後、場所を移動して、大型望遠鏡で月や火星を観察しました。子どもたちからは「月のクレイターがはつきり見える。まぶしい！火星は赤い。」と口々に感激した様子で話していました。

短い時間でしたが子どもたちは星空の大パノラマに大満足のようでした。

▲火星の模型を製作



▲望遠鏡で月を観察

道路愛護優良団体

知事表彰に金山自治公民館

8月28日、宮之城土木事務所平成15年度道路愛護優良団体表彰伝達式があり、金山自治公民館が知事表彰を受けました。

これは、毎年地区内の道路沿いにある花壇の手入れ、金山坑道入り口跡の草払い、県道の空き缶拾いなどの清掃作業を長年おこなってきた功績が認められたものです。

表彰式では、辻松靖浩館長に宮之城土木事務所の上村健

二次長兼総務課長から賞状が伝達されました。



▲辻松館長（右端）宮之城土木事務所関係者と一緒に

稲荷殿神社新築落成

求名黒鳥にある稲荷殿神社が、建て替えられ9月14日落成式が執りおこなわれました。

稲荷殿神社は神社につるしてある鐘の刻印から、享保7年（1722年）向園源七翁の提唱によって五穀豊穡を祈願して建立されたものと推定されています。当時は冷夏や旱魃のため、たびたび飢饉が起っていました。

今から約50年前、一回り小さい建物に建て替えられましたがその後老朽化が進み、向園信幸さんら管理していた向園出身者によって再び建立当時の大ききで立て替えられたものです。

世話人の向園哲さんは「みんなの気持ちの一つになって立派に立て替えることができました。感慨無量です。」と感想を話していました。



▲新築された稲荷殿神社

つった時は、ものすごくうれしかった。だげとぼくは、魚を入れる物を持っていきなかつたからにがそうと思つたけど、そのコイが、はりをよくまで飲んでいてはりがとれませんでした。しょうがなく糸を切つて逃がしたけれど帰つてからそのことをお父さんに言つたら、「はりをつけたままじゃ魚が死ぬよ。もしとれなかつたら家へ持つて帰つてきなさい。」と言つていました。こんど魚が飲みこんでいたら家に持つて帰つて、お父さんに取つてもらいます。